

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	音楽Ⅲ	2	3年次・J1	自由選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
Joy of Music(教育芸術社)		ファイル		2年次で音楽Ⅱを履修していること

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・曲や演奏することと生活や社会との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	・音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫している。 ・音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	歌唱 器楽	子どもの歌	4	・伴奏が弾けるようになる。	1 2 3
		歌唱	日本歌曲 「初恋」	5	・歌詞カードを作る。 ・歌詞を覚える。 ・姿勢を正し発声法の確認をする。 ・リズム・音程を正しく歌う練習をする。	1 2 3
			弾き歌い発表	6	・模擬授業をする。	1 2 3
		鑑賞	中世の音楽 ルネサンスの音楽 バロックの音楽	7	・互いの発表を評価する。 ・中世の音楽について理解する。 ・鍵盤楽器やリュートの音楽について理解する。 ・合奏協奏曲について理解する。	1 2 3
	2 学 期	器楽	アンサンブル	9	・アンサンブルの技術を高める。	
			古典派の音楽	10	・ソナタ形式について理解を深める。 ・互いの音を聞き演奏できるようになる。	1 2 3
		歌唱	ポピュラーソング 「時代」	11	・歌詞の内容を理解して歌唱法を工夫する。	1 2 3
			アンサンブル発表	12	・アンサンブルを発表する。 ・互いの発表を評価する。	1 2 3
			ロマン派の音楽		・ショパン、リストの作品について理解を深める	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	3 学 期	合唱	合唱 「民衆の歌」	1 2 3	・曲にふさわしい表現を工夫して個性豊かに演奏する。	1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解しているか。 ○曲や演奏することと生活や社会との関わりについて理解しているか。 ○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。		○音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫しているか。 ○音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしているか。		○主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。
	手 段	・活動の様子 ・ワークシート ・実技		・活動の様子 ・ワークシート ・実技		・活動の様子 ・ワークシート ・実技
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			
学習上の留意点	・基本的に教科書を中心に授業を展開するので、楽譜が読めるように予習しておこう。 ・楽器の演奏技術を高めよう。 ・自分から進んで取り組み、自分のできる精一杯を表現してみよう。					